

OREGON

POWERsharp®

DIAMOND

パワーシャープ取扱説明書

BLOUNT

お届けするのは信頼です。

ブラント・ジャパン株式会社
オレゴン・カッティング・システムズ

〒220-6212 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号
クイーンズタワーC 12F

TEL (045) 682-4433 FAX (045) 682-4434
<http://www.oregonchain.jp>

パワーシャープ取扱説明動画はこちらから



パワーシャープ
取扱説明動画はこちらから

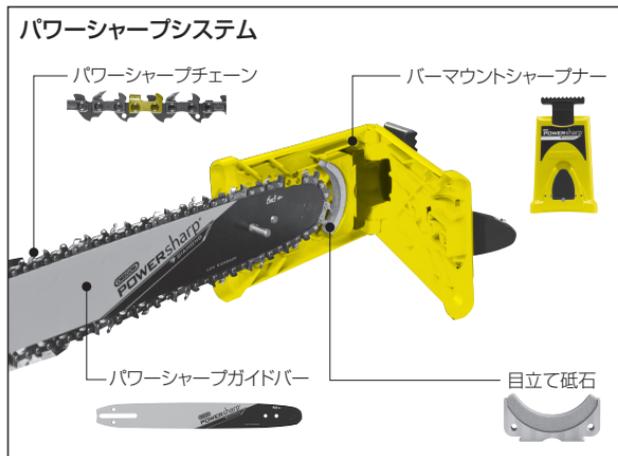


OREGON

オレゴンはブラント社の登録商標です。
本書に掲載されている内容を無断で複製あるいは転載することを禁じます。

パワーシャープとは

パワーシャープは、お使いのチェンソーの切れ味を数秒で回復できる目立て用アクセサリです。ソーチェーンは、刃先が鋭ければ木に無理に押しつけなくても食い込んで効率よくカットでき、刃の寿命も長くなります。パワーシャープで、いつも鋭い切れ味を保ちましょう。



パワーシャープシステムには、専用のパワーシャープチェーンのみご使用いただけます。他のチェーンはご使用になれません。

パワーシャープご使用の手順

- 1 目立て砥石を
バーマウントシャープナーに
取り付けます。



- 2 バーマウントシャープナーを
ガイドバーに取り付けます。
(カバーを閉め、黒いフックが「カチッ」と音が
するまでしっかりとロックしてください)



- 3 チェーンを回転させ、
バーマウントシャープナーの
スパイクを固い場所に
押しつけます。



約5秒

目立て完了!

ご使用の前に、必ず本取扱説明書をお読みください。

安全のために (必ずお守りください)

チェンソーおよびパワーシャープを安全にご使用いただくため、必ず本取扱説明書を最初にお読みになり、記載された指示に従ってください。

決して行ってはいけないこと

- 適切な取扱説明書を参照せずにチェンソーを使用すること。
- チェンソーを使用しているとき、ガイドバーの先端およびチェーンを、障害物等に接触させること。
- ソーチェーンの張りが緩んだ状態または刃先が鈍った状態で使用すること。
- 不安定な姿勢で切削作業をすること。
(不安定な姿勢とは、バランスを崩したまま、腕を伸ばしたまま、片手だけ、ハシゴに乗ったまま、木の枝にまたがったまま、等)

必ず行うべきこと

- 適切な取扱説明書を読んでから作業を始めること。
- ソーチェーンの保守は、取扱説明書等の指示に従って正しく行うこと。
- チェンソーを使用するときは、革製の保護グローブやヘルメット、防護服、ブーツなどを着用し、手や足、目、耳、顔面などを保護すること。
- チェンソーは両手でしっかり握ること。
- チェンソーはエンジンを全開にして切削すること。

キックバックを防ぎましょう

チェンソーのキックバックとは、ガイドバー先端上部のソーチェーンが丸太・枝などの対象物に接触したとき、あるいは切削中にソーチェーンが木に挟まれたときなどに起こる、ガイドバーの後方方向／上方への反動のことです。

- すべてのチェンソーにキックバックを起こす危険性があります。
- キックバックが起きると、チェンソーがコントロールできなくなり、作業者や周囲の人が負傷する場合があります。
- キックバックを防ぐため、ガイドバーの先端上部が切削対象や他の障害物等に触れないように注意してください。



パワーシャープシステムのパッケージに同梱されているソーチェーンは、キックバックが起きにくいローキックバックタイプです。
米国のANSI B175.1のキックバック抑制基準を満たしています。

この取扱説明書で使用している警告表示には、以下の意味があります。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を表しています。

警告

ソーチェーンが適切に装着されていない場合および張りが弱い場合は、チェーンがガイドバーから外れ、作業者が重傷を負う危険があります。この説明書および、お使いのチェーンソー取扱説明書の装着手順や保守説明を必ず順守してください。

注意

使用前に必ずソーチェーンの張り調整を適切に行ってからチェーンソーを使用してください。
下記の張り調整の方法を参照してください。

手袋をはめます。

チェーンソーのエンジンを停止させ、本体が冷えてから、古いガイドバーとチェーンを取り外します。

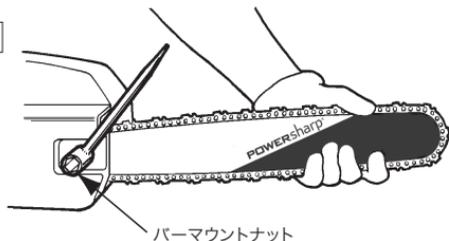
新しいガイドバーとチェーンを以下の通りに装着します。

- ①ガイドバーを本体に取り付けます。
- ②新しいチェーンは、刃の方向がガイドバーの先端を向くように、バーの上先端に沿ってドライブスプロケットに回して掛けます。
- ③チェーンのドライブリンクをガイドバーの溝にはめ込み、バーを本体から離す方向(前方)にスライドさせて、緩んだチェーンを張っていきます。バー調整ネジを調整して、バーの穴にはまるように合わせます。
- ④チェーンカバーを元に戻して、ナットを手で締めます。

チェーンの張り調整の方法

- ①ガイドバー取付ナットを軽く締めた状態で、バーのノーズを引き上げ、持ち上げた状態にします。(図A)
そして、バー調整ネジでチェーンを張ります。(調整ネジの位置に関しては、お使いのチェーンの取扱説明書を参照してください。)

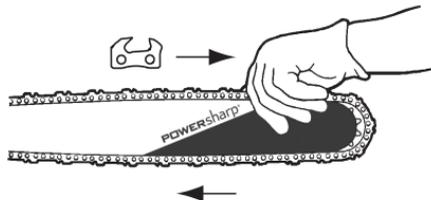
図A



- ②ガイドバー取付ナットをきつく締めます。

張りが適切な場合は、手袋をはめた手でガイドバー上部のチェーンをつかみ、先端部方向へ引っ張ることができます。チェーンは、バーレールの下側でもしっかりとレールに接触するまで張ってください。(図B)

図B



切削を開始する前に数分間チェーンを空回りさせ(ガソリンチェーンソーの場合は低速で)、オイルをガイドバーやチェーンのすべての箇所に行き渡らせてください。次いでエンジンを停めてチェーンの張りを確認します。チェーンに緩みが出ている場合は、再び張りを調整します。

切削を開始し、数分間使用したらエンジンを止め、チェーンが冷えてから張りを再確認してください。

特に最初の10分間は、張りに十分注意してください。

作業中も、ときどき張りを確認してください。

その後の再調整は、チェーンとガイドバーが冷えてから適宜行います。

チェーンがまだ熱いときは、張り調整を行わないでください。

ガイドバー、ソーチェーン用の高品質な潤滑オイルを使用して、チェーンに十分注油してください。

また、チェーンのオイルが適切な状態にあることを確認してください。

オイルは、チェーンが回転している間にチェーンに注油されます。

ガソリンチェーンソーの場合、燃料を給油したら、チェーンオイルも満タンにしてください。

低温下で切削作業を行う際には、潤滑オイルに灯油か軽油を最大25%まで加えて薄め、適切な状態にしてください。



警告

張りを調整する際は、チェーンソーのエンジンを停止すること。

パワーシャープの使い方

パワーシャープを使用する際は、まずバーマウントシャープナーに目立て砥石を取り付けてください。目立て砥石はパワーシャープのパッケージに同梱されています。チェーンを交換するごとに目立て砥石も交換してください。

警告

パワーシャープの使用時には、必ず防護服や手袋、ゴーグルを着用してください。

注意

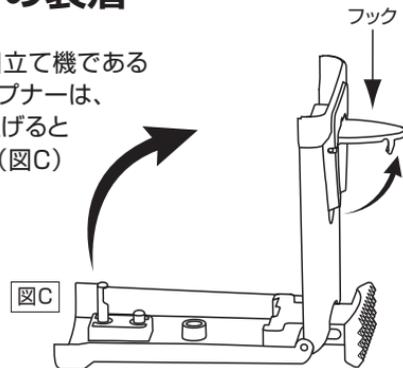
バーマウントシャープナーは、オレゴンのパワーシャープチェーンにのみ使用できます。決して、このバーマウントシャープナーを使って他のソーチェーンを目立てしないでください。誤った使い方をすると、ソーチェーンおよびバーマウントシャープナーが破損することがあります。

注意

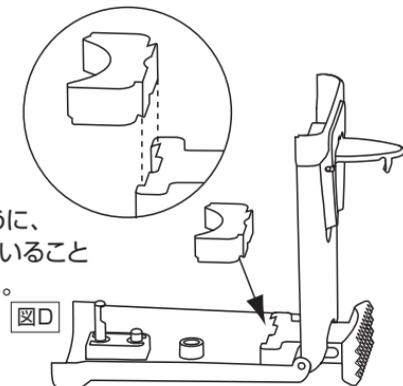
パワーシャープチェーンは独自の先端カッターを使用しているため、オレゴンのバーマウントシャープナー以外では目立てできません。

目立て砥石の装着

ガイドバー装着型目立て機であるバーマウントシャープナーは、フック先端を引き上げるとカバーが開きます。(図C)



カバーを開けたら、溝に目立て砥石を挿入します。(図D) 目立て作業中に砥石が外れないように、しっかり挿入されていることを確認してください。



パワーシャープの使い方

バーマウントシャープナーのガイド バーへの取り付け

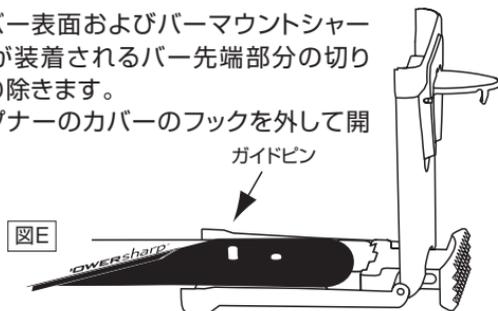
警告

チェンソーのエンジンが動いているときは、絶対にバーマウントシャープナーの取り付け、取り外しをしないでください。

注意

バーマウントシャープナーの取り付け、取り外しは、必ず手袋を着用して行ってください。
また、シャープナーのカバーを閉める際に指などを挟まないよう注意してください。

- ①ガイドバー表面およびバーマウントシャープナーが装着されるバー先端部分の切り屑を取り除きます。
- ②シャープナーのカバーのフックを外して開きます。



- ③次に、2本のガイドピンをバーのガイド穴に差し込んで、シャープナーをバーに対して平行にします。(図E)
- ④長い方のピンが少しだけカバー上に見えるようにカバーを閉めます。
- ⑤フックは、カバーと水平になるまでしっかり閉めます。(図F)

ガイドピンの先端が見えていること 図F



警告

バーマウントシャープナーが正しく装着されると、長い方のピンがフックの脇に見え、フックは元の位置に収まります。
フックがきちんと閉まらない場合は、シャープナーを使用しないでください。
また、破損した部品がある場合も使用しないでください。使用すると、重傷事故の原因となることがあります。

パワーシャープの使い方

ソーチェーンの目立て

- ①足場がしっかりしていて、チェーンソーを押しつけることができる固い表面がある場所を選びます。
- ②チェーンソーの出力を最大にして、バーマウントシャープナーのスパイクを固い場所に約5秒間強く押しつけます。(図G)シャープナーの砥石にソーチェーンの刃が接触し、火花が出ますが、安全上は問題ありません。



警告

ガソリン、アセチレンなど引火性の高いものがある場所では、本製品を使用しないでください。

警告

本製品の使用前に、チェーンソー、ガイドバー、チェーンに付着している燃料の汚れなどをきれいに拭き取ってください。

注意

本製品を使用して目立てを行うと、少量の火花が出ます。

警告

チェーンが手や足などに触れると大怪我をすることがあり危険なので、バーマウントシャープナーのスパイクは、決して手や足で押しつけたりしないでください。

警告

パワーシャープで目立てを行うときは、腰より高い位置や膝より低い位置でスパイクを押さないでください。

注意

目立て中には力を入れすぎないでください。力を入れすぎると目立ての仕上がりが悪くなる場合があります。

注意

チェーンと砥石が接触すると、摩擦熱によりガイドバーとチェーンのオイルが加熱されるため、バーマウントシャープナーから少量の火花と煙が発生します。火花や煙が大量に出た場合は、直ちに、スパイクを押す力を緩めてください。

パワーシャープの使い方

バーマウントシャープナーの取り外し

警告

バーマウントシャープナーは、チェーンソーのエンジンが動いているときには決して取り外さないでください。

注意

バーマウントシャープナーを装着したままの状態では、絶対に切削を行わないでください。

注意

バーマウントシャープナーを取り外すときは、十分に注意してください。目立て中の摩擦によって、ガイドバーとチェーンが熱くなっていることがあります。

- ①目立て後、チェーンソーを停止させます。
- ②フックを外してカバーを開け、バーマウントシャープナーをガイドバーから取り外します。

- ③カバーが勝手に開かないよう、カバーを閉めてフックを掛けます。(不用意にカバーが開くと、バーマウントシャープナーが破損することがあります。)
- ④チェーンソーで切削を行い、ソーチェーンの切れ味を確認します。切れ味が悪く、切削スピードが遅い場合は、刃が十分に研磨されて切れ味が良くなるまでパワーシャープで目立てを繰り返します。

チェーンと砥石、ガイドバーの交換時期

パワーシャープのチェーンを交換するときは、目立て砥石も同時に交換してください。摩耗した砥石を使い続けると、パワーシャープの研磨効果が低下します。

以下の場合も、チェーンと砥石の両方を交換する必要があります。

- チェーンの目立てを行う際に生じる火花の量が急に少なくなったとき。この場合、砥石が摩耗しています。
- 目立てを繰り返してもチェーンの切れ味が良くならないとき。この場合、チェーンが摩耗しています。

ガイドバーは、定期的に状態を確認してください。通常ガイドバーは、ソーチェーンを3・4回交換するごとに1回交換します。但し、摩耗や破損が見つかったときは、すぐに交換してください。

保証について

オレゴン製品は、出荷時において部品および加工に欠陥がないことを保証します。

製品に不備・不具合があった場合は、弊社または取扱店へご連絡ください。不良品については交換いたします。

但し、下記の場合は保証の対象外となります。

- 製品の使用に伴う摩耗、経年劣化
- 本取扱説明書の注意事項に従わない不適切な使用、および手入れによる損傷

不良品の交換だけが、本保証唯一の賠償方法です。製品を使用することによって生じる損害については保証の対象外となります。

お届けするのは信頼です。

オレゴンのソーチェーンのシェアは世界160カ国以上でNo.1。
世界のチェーンソー市場をリードするこの実績こそ、信頼の証です。

これからもオレゴンは、ソーチェーンをはじめ、
ガイドバーや各種アクセサリーの開発に積極的に取り組み、
品質とサービスの向上を最優先に、
さまざまな事業分野で活躍し続けます。

